

政府からのお知らせ

避難所などで集団生活を
送られている方へ

感染症に 気をつけましょう



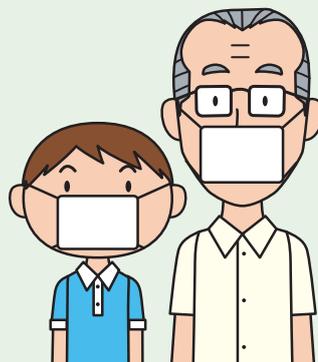
- 避難所などでの集団生活では、風邪やインフルエンザなどの感染症が流行しやすくなります。

チェック

感染症予防のためにできること



▶ こまめな手洗い



▶ マスクの着用

発熱、咳、下痢や嘔吐がある方はできるだけ早く医師の診察を受けましょう。

被災地で感染症の流行をおさえるために

▶症状のある方への注意事項

1 発熱・せきなどの症状がある方へ

他の方に、風邪・インフルエンザを移さないために、軽い症状であってもマスクを着用しましょう。

2 下痢や嘔吐などの症状がある方へ

脱水にならないよう水分補給を心がけましょう。また、周囲に感染を広げないように、手洗いを励行してください。

※これらの症状がある方は、速やかに医師の診察を受けてください。

3 けがをされた方へ

破傷風に感染するおそれがあります。土などで汚れた傷を放置せず、医療機関で手当を受けるようにしてください。

▶感染症の流行を防ぐ

避難所などでの集団生活では、感染性胃腸炎等の消化器系感染症や、風邪やインフルエンザ等の呼吸器系感染症が流行しやすくなります。

避難所の生活者や支援者は、こまめに手洗いを励行するよう心がけてください。



▶その他 健康管理のため、水分補給を心がけましょう

- 様々なストレスや、トイレが整備されないことが原因で、水分をとる量が減りがちです。
- また、気温が高いときには脱水状態になりやすいので、こまめに水分をとりましょう。
- 特に高齢者は脱水に気付きにくく、こうした影響を受けやすく、尿路の感染症や心筋梗塞、エコノミークラス症候群などの原因にもなるので、しっかりと水分をとるようにしましょう。

